

和歌山県立自然博物館所蔵のカニ類標本 (永井コレクション)の分類学的研究 I. 日本新記録種(1)

丸村 眞弘*・武田 正倫**

Masahiro MARUMURA and Masatsune TAKEDA: Taxonomic studies on the crabs of the Nagai Collection
preserved in the Wakayama Prefectural Museum of Natural History

I. Species new to Japan (1)

和歌山県串本町の故永井誠二氏によって長い歳月をかけて蒐集され、2000年に和歌山県立自然博物館に寄贈されたカニ類標本は1200余種に達している。

筆者らは2001年から3年間、これらの標本を検討し、目録を作成する機会を得たが、その中に多数の日本未記録種を見出した。わが国のカニ類の地理的分布を考える上で重要な資料になるものと思われるので、今後本誌に順次報告する予定である。

本稿をまとめるにあたり、標本の貸与などにおいてさまざまな便宜を図っていただいた和歌山県立自然博物館の今原幸光専門員及び小阪 晃学芸員に深く感謝の意を表す。

Homolidae ホモラ科

Lamoha longirostris (CHEN, 1986)

ツノホモラ (新称)

(Figs.1, 2)

Hypsophrys [sic] *longirostris* CHEN, 1986, 227.

Hypsophrys futuna: GUINOT & RICHER DE FORGES, 1995, 456, figs. 611, 66a, g.

Lamoha longirostris: NG & CHEN, 1999, 760, figs. 1, 2; CHEN & SUN, 2002, 147, fig. 62

甲の輪郭はほぼ縦長の四角形で、甲域は明瞭に分かれる。甲と胸脚には硬毛が疎らに生えているが、甲の側面の毛は長く、背面の毛は非常に短い。額角はよく発達し、わずかに下方に曲がる。額角の中央部背面には縦溝があり、側縁は丸い先端に向かって狭まる。偽額角は存在しない。眼窩上縁には棘はないが、中央に低い歯状の膨らみがある。甲の前側縁には短い顕著な1本の棘がある。後側縁はわずかに膨らみ、小顆粒で覆われる。甲の後縁は弱く窪む。原胃域は低い顆粒が散在する以外は

滑らかで、中胃域及び後胃域も滑らかである。鰓域には粗い顆粒が散在する。第2触角棘は強力で、前方を向く。下肝域には前方を向く1大棘があり、手元の標本では右棘のみ先端が二分する。頬域の後部は小顆粒で覆われる。頸溝は深く、中央の顕著な窪みの後ろで相接する。鰓心溝は深い。ホモラ線は顕著で、曲がりくねりながら甲面を縦走する。第2触角の基節には棘がなく、第1触角の柄部はほぼ球形で、棘がない。第3顎脚の長節表面は概ね滑らかで、座節は短毛で覆われ、長方形に近い。

左右の鉗脚はほぼ同大で、比較的細長い。長節は上縁、外下縁及び内下縁に顕著な棘が並び、内面は顆粒で覆われ、外面及び下面は概ね滑らかである。腕節の表面は棘で覆われ、内角には2本の大棘がある。掌部の外面及び内面は多くの棘と小棘を生じ、内面には1本の縦走する顕著な棘列がある。指部は細長く、先端部は弱く内方に湾曲する。可動指上縁は平坦で、切断縁の基部近くに顕著な1歯があり、不動指の切断縁基部の顕著な1歯と噛み合う。両指の切断縁の残りの部分は刃状を呈する。不動指基部の内面及び外面には大きな楕円形の色素斑がある。

歩脚は第2歩脚が最も長く、第1歩脚と第3歩脚は長さがほぼ等しい。前3対の歩脚の長節前縁には14~15本の顕著な棘が並ぶが、後縁には棘がない。腕節及び前節には棘は認められず、長毛が疎生する。指節の上縁には長毛が疎生し、下縁には短毛が列生する。第4歩脚は短くて非常に細く、各節の前縁及び後縁に棘は見られない。長節は前方に伸ばすと先端が前側縁の棘に達する。指節と前節の先端は鉗部を形成する。腹部は胸甲を完全に覆い、概ね滑らかである。

雄の第1腹肢は太く、ほぼ真っ直ぐで、先端は膨れて、耳状を呈する。雄の第2腹肢は太くて短く、くの字形を呈し、先端が杯状に窪む。

* 〒646-0011 和歌山県田辺市新庄町3262 E-mail: mmarumura@ybb.ne.jp

** 〒169-0073 東京都新宿区百人町3-23-1 国立科学博物館 E-mail: takeda@kahaku.go.jp

本種は、第4歩脚の長節後縁に棘を欠き、また額角の先端が二又しない点で、インド洋産の *Lamoha superciliosa* (WOOD-MASON & ALCOCK) によく似るが、下肝域に棘が1本ある (*L. superciliosa* には2本ある) こと、原胃域が滑らかである (*L. superciliosa* では小棘がある) こと、及び眼窩上縁に棘を欠く (*L. superciliosa* では1棘ある) ことで区別される。本属の日本産としては、本種のほかにムロトホモラ *L. murotoensis* (SAKAI)、ウィリアムホモラ *L. williamsi* (TAKEDA) の2種が知られる。

分布：東シナ海、南シナ海、中部太平洋のウォリス諸島及びツツナ諸島。

検討標本：雄1個体(甲長23.9mm, 甲幅18.4mm); 1992年6月27日; 土佐湾, 水深630m (WMNH-Na-Cr 0063)。

Leucosiidae コブシガニ科

Raylilia mirabilis (ZARENKOV, 1969)

ミナミトゲコブシ (新称)

(Fig.3)

Arcania gracilipes: CALMAN, 1900, 28.

Randallia mirabilis ZARENKOV, 1969, 24, fig.12; SERÈNE & SOH, 1976, 13; RICHER DE FORGES, 1983, 634.

Arcania mirabilis: OVAERE, 1989, 100.

Zarenkovia mirabilis: CHEN, 1996, 283, fig.12.

Raylilia mirabilis: GALIL, 2001a, 70, fig.5; CHEN & SUN, 2002, 346, fig. 153, pl.7, fig.4.

甲の輪郭はほぼ円形で、背面は偏圧された小顆粒で覆われる。肝域に2個、鰓域に10個、後胃域に1個、腸域に2個の計15個の鈍頭の突起を備える。肝域の突起は上面が平坦である。甲の側縁には下肝域に2個、側縁中部に6個、後縁に3個の計11個の顆粒で覆われた突起があり、下肝域のものが最大である。眼窩縁には3つの浅い裂溝がある。額は突出し、中央のU字形の切れ込みで丸く膨れた2葉に分かれる。額の後ろは中央が隆起し、その両側が深く窪む。第1触角の基節は触角窩を完全に覆い、触角窩と眼窩は相通じる。第2触角は眼窩内の上部に位置する。鰓の輸出管の前縁には1つの裂溝があり、内縁は完縁である。第3顎脚は表面が大小の偏圧された顆粒で覆われ、内肢の長節の長さは座節の1/2である。外肢は内肢より幅狭く、その先端は内肢の長節の1/2付近まで達する。

鉗脚の長節は甲長より長く、丸い顆粒で密に覆われる。腕節及び掌部は小顆粒で覆われる。両指は細長く、切断縁には細かい鋸歯を有する。歩脚は細長く、細かい顆粒で覆われる。胸甲は丸い顆粒で密に覆われ、外側縁に丸い隆起部が並ぶ。雄の腹部は小顆粒で覆われ、4節からなる。前2節は短く、第3~6節は癒合し、末端付

近の中央に1歯がある。尾節は長さが幅より大きく、先端の丸い三角形を呈する。雄の第1腹肢は基部2/3が太く、先端1/3が薄く板状になり、末端が膨らんで3葉に分かれる。

GALIL (2001a) は新しく設立した *Raylilia* 属に、本種と *Arcania gracilipes* (BELL), *A. uenoi* TAKEDA 及びニューカレドニアとインドネシアから得られた1新種 *Raylilia coniculifera* GALIL の4種を含め、それらの検索表を作成した。この中で甲の側縁中部に突起を2個有するか、3個有するかが分類上の重要形質の1つとされた。CHEN & SUN (2002) は本種においてこの突起の数に変異が認められ、2個または3個であることを指摘している。

和歌山県立自然博物館 (2003) の永井誠二コレクションカニ類標本目録の中で、甲の側縁中部に3個の突起を有する本種の標本が誤って *R. coniculifera* と同定されている。

分布：ニューカレドニア島から、チェスターフィールド諸島、ウォリス諸島、トレス海峡を経て、フィリピン、南シナ海までの西太平洋海域。

検討標本：雄1個体(甲長7.3mm, 甲幅7.3mm); 1990年; 石垣島沖, 水深100m (WMNH-Na-Cr 0192)。

Myra cultimana GALIL, 2001

ヒラテテナガコブシ (新称)

(Fig.4)

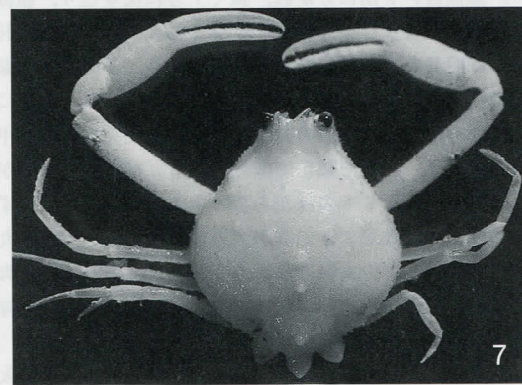
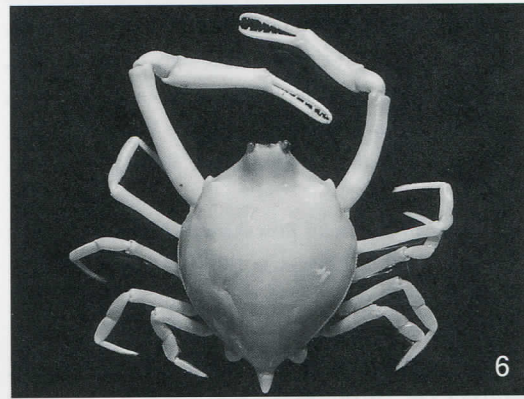
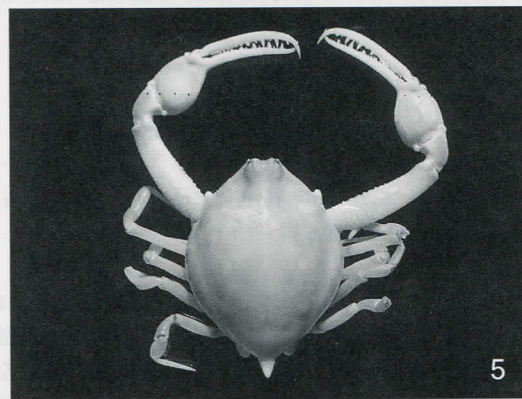
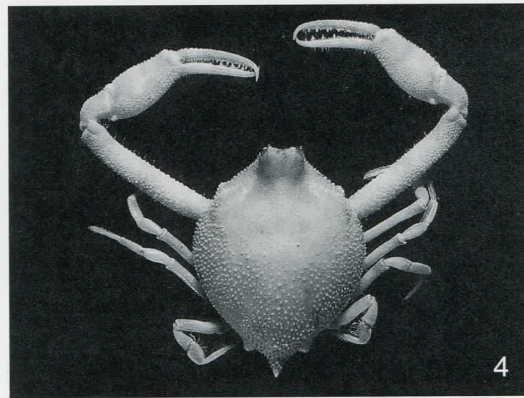
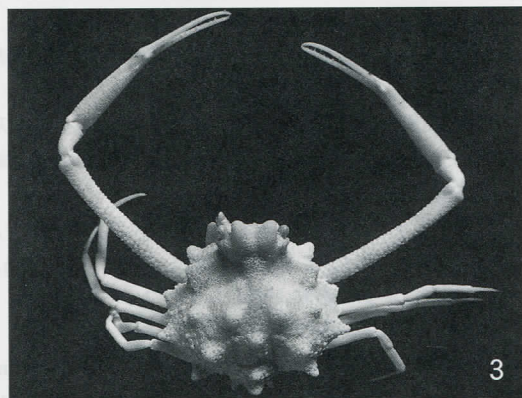
Myra brevimana: IHLE, 1918, 258.

Myrodes eudactylus: TYNDALE-BISCOE & GEORGE, 1962, 87, figs.7, 8.

Myra cultimana GALIL, 2001b, 421, figs.1f, 9.

甲の輪郭は縦長の楕円形で、後縁中央棘を除く甲長は甲幅の約1.2倍。甲面は粗く丸い顆粒で覆われ、中央を稜線が縦走する。額は広い2歯に分かれ、上方に反り返り、鰓の輸出管及び第3顎脚の前端を越えて突出する。肝域は膨らんで、大きな顆粒の列が1条ある。下肝域の切り子面は顕著で、小顆粒で粗く覆われる。切り子面の下縁は大きな顆粒で縁取られ、後端には顆粒で覆われた顕著な1歯がある。甲の側縁はビーズ状の顆粒で縁取られる。後縁には顆粒で覆われた3本の棘がある。中央棘は側棘よりわずかに長く、先端が尖り、上方に反り返る。側棘は円錐形で、中央棘より低いレベルにある。第3顎脚には顆粒が散在し、短毛が生える。

鉗脚は顆粒で粗く覆われ、先端部に近い顆粒ほど小さい。長節の長さは甲長より短い。掌部は膨らんで、幾分偏平になる。可動指は掌部上縁よりわずかに長く、切断縁には4, 5本の大棘と多くの小棘が列生する。歩脚は非常に細く、その指節は前節より長い。雄の腹部は基部を



Figs. 1, 2. ツノホモラ (新称) *Lamoha longirostris* (CHEN),
♂

Fig. 3. ミナミトゲコブシ (新称) *Raylilia mirabilis*
(ZARENKOV), ♂

Fig. 4. ヒラテテナガコブシ (新称) *Myra cultimana* GALIL,
♂

Fig. 5. ノコバテナガコブシ (新称) *Myra eudactyla* (BELL),
♂

Fig. 6. スベスベテナガコブシ (新称) *Myra grandis*
ZARENKOV, ♂

Fig. 7. ミツイボテナガコブシ (新称) *Myrine kesslerii*
(PAULSON), young ♂

除いて滑らかで、4節からなる。前2節は短く、顆粒で覆われる。第3節から第6節は癒合し、基部は顆粒で覆われ、末端付近の中央に三角形の扁平な1歯がある。尾節は縦に長い鈍頭の三角形を呈する。

雄の第1腹肢の先端は細くなってわずかに湾曲し、末端は葉状を呈する。

本種はインド洋産の *Myra brevimana* ALCOCK に大変よく似るが、甲及び鉗脚が粗い顆粒で覆われ (*M. brevimana* では細かい顆粒で覆われる)、雄の第1腹肢の先端が葉状 (*M. brevimana* では円形鎌状) を呈することによって区別される。

分布：フィジー、ニューカレドニア島、インドネシア及びフィリピン。

検討標本：雄1個体 (後縁中央棘を除く甲長19.5mm, 甲幅16.8mm); 1996年11月; 奄美大島沖水深100m (WMNH-Na-Cr 0202-1)。雄1個体 (後縁中央棘を除く甲長16.5mm, 甲幅13.9mm); 1980年; 串本町沖、水深60m; (WMNH-Na-Cr 0202-2)。

Myra eudactyla (BELL, 1855)

ノコバテナガゴブシ (新称)

(Fig.5)

Myrodes eudactylus BELL, 1855, 299, pl.32 fig.6; MIERS, 1886, 298; ORTMANN, 1892, 576; ALCOCK, 1896, 255; RATHBUN, 1910, 313; Ihle, 1918, 262; ESTAMPADOR, 1937, 513; SERÈNE, 1955, 201, fig.9, pl.10, figs.4-6, pl.1, figs.5, 6; SERÈNE, 1968, 44; ZARENKOV, 1990, 67, pl.5, fig.13, pl.6, figs.16-18; CHEN, 1996, 288; TAN, 1996, 1044; CHEN & SUN, 2002, 362, fig.161, pl.15, fig.5.

Myra eudactyla: A.MILNE EDWARDS, 1874, 46, pl.3, fig.3; HASWELL, 1882, 123; GALIL, 2001b, 425, figs.2b, 11.

Myrodes gigas HASWELL, 1880, 52, pl.5, fig.5.

甲の輪郭は縦長の楕円形で、後縁中央棘を除く甲長は甲幅の約1.3倍。甲面は微細な顆粒で覆われ、側縁ほど顆粒は密である。甲面中央の稜線はあまり顕著ではない。額は広い2歯に分かれ、先端は上方に反り返るが、鰓の輸出管及び第3顎脚の前縁を越えて突出することはない。肝域はわずかに膨らんで、微細な顆粒からなる稜を有する。下肝域の切り子面は顕著で、滑らかである。下縁には大きな顆粒が並び、後端に顆粒で覆われた顕著な1歯がある。甲の側縁はビーズ状の顆粒で縁取られ、頬域は微細な顆粒で覆われる。後縁には顆粒で覆われた3つの棘がある。中央棘は側棘よりはるかに長く、円錐形で先端が尖り、上方に反り返る。側棘は丸く葉状で、顆粒で縁取られ、中央棘より低いレベルにある。第3顎

脚の長節と外肢は全体的に顆粒で粗く覆われ、座節は外縁付近が顆粒で覆われるが、内縁付近は滑らかである。

鉗脚は短くて太い。長節は甲長の約2/3の長さで、基部半分と前縁及び後縁が顆粒で覆われ、腕節はほぼ滑らかである。掌部は非常に短く、著しく膨らんで球形を呈し、外縁及び内縁が顆粒で覆われる以外は滑らかである。指部は非常に長く、掌部上縁の約2倍の長さがある。切断縁には4, 5本の大棘と多くの棘が列生し、指部の先端は鋭い鉤状を呈する。歩脚は細く、指節は前節よりも長い。雄の腹部は滑らかで、4節からなる。前2節は短く、側縁に顆粒が散在する。第3節から第6節は癒合し、末端付近の中央に三角形の1歯がある。尾節は縦に長い鈍頭の三角形となる。

雄の第1腹肢の先端は指状を呈し、わずかに内方に湾曲する。

本種は鉗脚の形状などによって長らく *Myrodes* 属に入れられていたが、GALIL (2001b) によって、*Myrodes* 属は *Myra* 属のシノニムであるとされた。

分布：南シナ海、トンキン湾、ベトナム、フィリピン、インドネシア、タイ、アンダマン諸島、ニューギニア島、アラフラ海、トレス海峡、チェスターフィールド諸島、ニューカレドニア島及びオーストラリア。

検討標本：雄1個体 (後縁中央棘を除く甲長26.1mm, 甲幅20.4mm); 1990年12月; 宮古島、水深60m (WMNH-Na-Cr 0200)。

Myra grandis ZARENKOV, 1990

スベステナガゴブシ (新称)

(Fig.6)

Myra grandis ZARENKOV, 1990, 65, pl.6, figs.8-12; GALIL, 2001b, 429, figs.2D, 13.

甲の輪郭は縦長の楕円形で、後縁中央棘を除く甲長は甲幅の約1.3倍。甲面は肉眼では滑らかに見えるが、前半部に小顆粒が散在する。甲面中央に稜線は見られない。額は広い2歯に分かれ、強く上方に反り返り、額縁は鰓の輸出管及び第3顎脚の先端を越えて突出する。肝域には顕著な乳房状突起と小顆粒があり、下肝域には顕著な切り子面が存在せず、下縁は顆粒で覆われ、後端には顆粒で覆われた1つの顕著な鈍頭の棘が見られる。甲の側縁はビーズ状の顆粒で縁取られる。後縁には背面が顆粒で覆われた3本の棘がある。中央棘は側棘よりわずかに長く、円錐形で、先端が上方に反り返る。側棘は丸い葉状を呈し、中央棘より低いレベルにある。第3顎脚の長節と外肢は全体的に顆粒で粗く覆われ、座節の外縁付近も顆粒で覆われるが、内縁付近は滑らかである。

鉗脚及び歩脚の表面は滑らかである。鉗脚は短くて太

い。長節は短く、その長さは甲長の約0.7倍。掌部上縁の長さは甲長の約1/3倍で、可動指の長さとはほぼ等しい。切断縁には4, 5本の大棘と多くの小棘が列生する。歩脚は細長く、指節は前節より長い。胸甲は第2, 第3節の前縁に顆粒が散在するが、それ以外の部分は滑らかである。雄の腹部は滑らかで、4節からなる。前2節は短く、第3節から第6節は癒合し、末端付近の中央に扁平な1歯がある。尾節は縦に長い鈍頭の三角形を呈する。

雄の第1腹肢の先端は指状突起となる。

分布：ケニア、マダガスカル島及びマルケサス諸島。

検討標本：雄1個体（甲長28.5mm, 甲幅22.3mm）; 1990年12月；石垣島沖、水深80m（WMNH-Na-Cr 0201）。

Myrine kesslerii (PAULSON, 1875)

ミツイボテナゴコブシ (新称)

(Fig.7)

Callidactylus kesslerii PAULSON, 1875, 80, pl.11, fig.1.

Myra darnleyensis: HASWELL, 1880, 52, pl.5, fig.4;

HASWELL, 1882, 122; MIERS, 1886, 315; ALCOCK & ANDERSON, 1894, 199; ALCOCK, 1896, 207; BORRADAILE, 1903, 438; LAURIE, 1906, 362; ESTAMPADOR, 1937, 513.

Myra kesslerii: NOBILI, 1906, 165; BUITENDIJK, 1939, 228.

Persephona darnleyensis: RATHBUN, 1911, 201.

Persephona kesslerii: LAURIE, 1915, 409.

Myra kesslerii: IHLE, 1918, 260; SERÈNE, 1955, 192, fig.8, pl.10, fig.3, pl.11, figs.1-4; 1968, 44; ROMIMOHTARTO, 1967, 15, text-fig.6, pl.2, fig.d; TYNDALE-BISCOE & GEORGE, 1962, 89, figs.7-9; CAMPBELL, 1971, 39; ZARENKOV, 1990, 64, pl.6, figs.13-15; DAI & XU, 1991, 6, fig.4; HUANG, 1994, 579; CHEN & SUN, 2002, 359, fig. 159.

Myrine kesslerii: GALIL, 2001b, 436, figs.3D, 19.

甲の輪郭はほぼ洋梨形で、後縁中央棘を除く甲長は甲幅の約1.06倍。背面は半球状に強く隆起し、細かい顆粒で覆われ、14~15個の大小の隆起部が左右対称に配置される。額には細かい顆粒で密に覆われ、2歯に分かれて突出するが、鰓の輸出管及び第3顎脚の前端を越えることはない。また、鰓の輸出管の前縁と眼窩下縁の間は溝で明らかに隔てられる。肝域は弱く円錐状に隆起し、下肝域には顕著な切り子面は見られず、小顆粒が散在する。下縁は棘状顆粒で縁取られ、後端にはわずかに大きな棘状顆粒がある。甲の側縁は3個の顕著な棘状顆粒と小さな棘状顆粒で縁取られ、*Myra*属で見られるようなビーズ状の顆粒列は見られない。後縁には顆粒で覆われたほぼ同形同大の3つの花弁状の棘がある。第3顎脚は細か

い顆粒で覆われ、内肢の長節及び外肢の先端部には短毛が生える。

鉗脚は顆粒で粗く覆われ、その顆粒は鉗脚の先端に近いほど小さい。掌部は膨らんで短く、指部は掌部上縁の1.5倍の長さがある。両指の切断縁は細かい鋸歯を有する。歩脚は細長く、指節と前節はほぼ同長である。胸甲は微細な顆粒で覆われる。雄の腹部は微細な顆粒で覆われ、4節からなる。前2節は短く、第3節から第6節は癒合して細長く、尾節は鈍頭の三角形を呈する。癒合節の末端付近の中央に歯が見られない。

*Myrine*属は本種と *M. actidens* の2種を含めるために、GALIL (2001b) によって創設された。本属と *Myra* 属とは甲の側縁にビーズ状の顆粒列を欠く (*Myra* 属には顆粒列がある) こと、下肝域の1歯を欠く (*Myra* 属には1歯がある) こと及び鰓の輸出管の前端が眼窩下縁と溝によって隔てられる (*Myra* 属では溝がなく、鰓の輸出管の前端が眼窩下縁を形成する) ことなどによって区別される。

分布：フィジー諸島からニューカレドニア、チェスターフィールド諸島、オーストラリア、フィリピン、南シナ海、インドネシア、タイ、スリランカを経て、セイシェル諸島、マダガスカル、紅海までのインド・西太平洋海域。

検討標本：未成熟雄1個体（後縁中央棘を除く甲長8.3mm, 甲幅7.8mm）；奄美大島海峡、水深80m（WMNH-Na-Cr 0203-1）

引用文献

- ALCOCK, A. 1896: Materials for a carcinological fauna of India. No.2. The Brachyura Oxystomata. J. Asiat. Soc. Bengal, **65** (2), 134-296.
- . & A. R. ANDERSON. 1894: Natural history notes from H.M. Indian marine survey steamer "Investigator", Commander C.F. OLDHAM, R.N., commanding. Ser. II, No.17. List of the shore and shallow water Brachyura collected during the season 1893-1894. *Ibid.*, **63** (2), 197-209.
- BELL, Th. 1855: Horae carcinologicae, or notices of Crustacea. I. A monograph of the Leucosiadae. Tras. Linn. Soc. London, **21**, 277-314, pls. 30-24.
- BORRADAILE, L. A. 1903: Marine crustaceans. VI. The sand crabs (Oxystomata). In: J.S. GARDINER (ed.), The fauna and geography of the Maldive and Laccadive Archipelagoes, **1** (4), 434-439.
- BUITENDIJK, A. M. 1939: Biological results of the Snellius Expedition. V. The Dromiacea, Oxystomata and Oxyrhyncha of the Snellius Expedition. *Temminckia* **4**, 223-276.

- CALMAN, W. T. 1900 : On a collection of Brachyura from Torres Straits. *Trans. Linn. Soc. London*, **8**, 1-50.
- CAMPBELL, B. M. 1971 : New records and new species of crabs (Crustacea : Brachyura) trawled off southern Queensland: Dromiacea, Homolidea, Gymnopleura, Corystoidea, and Oxystomata. *Mem. Qld. Mus.*, **16**(4), 27-48.
- CHEN, H. L. 1986 : Preliminary studies on the Homolidae (Brachyura, Crustacea) of Chinese waters. *Trans. Chinese Crust. Soc.*, No.1, 227-228.
- . 1996 : The Leucosiidae (Crustacea : Brachyura) from Nansha Islands and adjacent waters. *in* : Studies on marine fauna and flora and biogeography of the Nansha Islands and neighbouring waters, **2**, Ocean press, Beijing, 270-309. (in Chinese)
- & H. SUN. 2002 : Marine primitive crabs, Brachyura, Crustacea, Arthropoda. *Fauna Sinica, Invertebrata* **30**, Science Press, Beijing, 1-597., pls.1-16. (in Chinese with English abstract)
- DAI, A & Z. XU. 1991 : A preliminary study on the crabs of the Nansha Islands, China. *Studies on the marine organisms of the Nansha Islands and surrounding seas*, Beijing, **3**, 1-47.
- ESTAMPADOR, E. P. 1937 : A check list of Philippine crustacean decapods. *Philipp. J. Sci.*, **62**(4), 465-559.
- GALIL, B. 2001a : A new genus and species of leucosiid crab (Crustacea, Decapoda, Brachyura) from the Indo-Pacific Ocean. *Zoosystema*, **23**(1), 65-75.
- . 2001b : A revision of *Myra* LEACH, 1817 (Crustacea: Decapoda: Leucosiidae). *Zool. Med. Leiden*, **75**, 409-446.
- GUINOT, D. D. & B. RICHER DE FORGES. 1995 : Crustacea Decapoda Brachyura : Révision de la famille des Homolidae DE HANN, 1839. *in* : A. CROSNIER (ed.), *Résultats des campagnes MUSORSTOM*, 13. *Mém. Mus. Natn. Hist. Nat., Paris*, **163**, 283-517.
- HASWELL, W. A. 1880 : Contributions towards a monograph of Australian Leucosiidae. *Proc. Linn. Soc. N.S.W.*, **4**(1), 44-66, pls. 5,6.
- . 1882 : Catalogue of the Australian stalk- and sessile-eyed Crustacea. 323pp., pls.1-4. The Australian Museum, Sydney.
- HUANG, Z. 1994 : Marine species and their distributions in China's seas. 764pp. China Ocean press, Beijing.
- IHLE, J. E. W. 1918 : Die Decapoda Brachyura der Siboga-Expedition. III. Oxystomata : Calappidae, Leucosiidae, Raninidae. *Siboga-Exp., Monogr.* **39b**², 159-322.
- LAURIE, R. D. 1906 : Report on the Brachyura collected by Professor HERDMAN at Ceylon, in 1902. *Ceylon Pearl Oyster Fish. Rep.*, part V, Suppl. Rep., (40), 349-432, pls. 1,2.
- . 1915 : On the Brachyura. Reports on the marine biology of the Sudanese Red Sea, from collections made by Cyril CROSSLAND. *J. Linn. Soc., London* **31**(209), 407-475.
- MIERS, E. J. 1886 : Report on the Brachyura collected by H.M.S. Challenger during the years 1873-76. The voyage of H.M.S. Challenger, *Zoology* **17**(2), 1-362.
- MILNE EDWARDS, A. 1874 : Recherches sur la faune carcinologique de la Nouvelle Calédonie. *Nouv. Arch. Mus. Hist. Nat., Paris*, **10**, 39-58, pls. 2-3.
- NG, P. K. L. & H. L. CHEN. 1999 : On the identities of two Pacific species of deep-water porter crabs, *Hypsophrys longirostris* CHEN, 1986, and *Homologenus donghaiensis* CHEN, 1986 (Crustacea:Decapoda:Brachyura: Homolidae). *Proc. Biol. Soc. Wash.*, **112**(4), 759-767.
- NOBILI, G. 1906 : Faune carcinologique de la Mer Rouge. Decapodes et Stomatopodes. *Ann. Sci. Nat., Zool.*, (9) **4**, 1-347, figs.1-12, pls.1-11.
- ORTMANN, A. 1892 : Die Decapoden-krebse des Strassburger Museum. Theil 5. Die Abtheilungen Hippidea, Dromiidea und Oxystomata. *Zool. Jb.*, **6**, 532-588.
- OVAERE, A. A. 1989 : *Ihleus* gen. nov., a new leucosiid genus (Crustacea, Brachyura). *Bull. Inst. Roy. Sci. Nat. Belgique* **59**, 95-100.
- PAULSON, O. M. 1875 : Studies on Crustacea of the Red Sea with notes regarding other seas. Part I. Podophthalmata and Edriophthalmata (Cumacea). 143pp., pls.1-21.
- RATHBUN, M. J. 1910 : V. Brachyura. The Danish Expedition to Siam 1899 - 1900. *Kgl. Danske Vidensk. Selsk. Skr.*, (7) **5**(4), 301-367.
- . 1911 : The Percy Sladen Trust Expedition to the Indian Ocean in 1905. XI. Marine Brachyura. *Trans. Linn. Soc., London* **14**(2), 191-261, pls. 15-20.
- RICHER DE FORGES, B. 1983 : *Randallia serenei* (Crustacea, Dacapoda, Brachyura), espece nouvelle de Leucosiidae du Pacifique. *Bull. Mus. Natn. Hist. Nat., Paris*, **5**(2), 633-640.
- ROMIMOHTARTO, K. 1967 : The Oxystomatous crabs of the Baruna Expedition. *Mar. Res. Indonesia* **8**, 1-21, pls.1-3.
- SERÈNE, R. 1955 : Sur quelques especes rares de Brachyures (Leucosiidae) de l'Indo-Pacifique. *Treubia*, **23**(1), 137-218.
- SERÈNE, R. 1968 : The Brachyura of the Indo-West Pacific

- region. Prodrumus for a check list of the non-planktonic marine fauna of south east Asia. Singapore Natn. Aca. Sci., Special publication. No.1, 33-112.
- & C. L. SOH. 1976 : Branchyura collected during the Thai-Danish Expedition (1966). Res. Bull. Phuket Mar. Biol. Cent., 12, 1-37.
- TAN, C. G. S. 1996 : Leucosiidae of the Albatross Expedition to the Philippines, 1907-1910 (Crustacea : Brachyura : Decapoda). J. Nat. Hist., 30, 1021-1058.
- TYNDALE-BISCOE, M. & R. W. GEORGE. 1962 : The Oxystomata and Gymnopleura (Crustacea, Brachyura) of western Australia with descriptions of two new species from western Australia and one from India. J. Roy. Soc. West. Austr., 45 (3), 65-96, pls.1-3.
- 和歌山県立自然博物館. 2003 : 永井誠ニコレクションカニ類標本目録. 74pp.
- ZARENKOV, N. A. 1969 : Crabs of the family Leucosiidae (subfamilies Eballiinae and Iliinae) collected in tropical waters of Indian and Pacific oceans. Nauch. Dokl. Vysal. Shk., Biol. Nauki SSSR 12(10), 16 - 26. (in Russian)
- . 1990 : Crabs of the family Leucosiidae (subfamilies Philyrinae and Leucosiinae) collected in tropical waters of the Pacific and Indian ocean. Biol. Nauki 1, 52-70. (in Russian)

Summary

In the first of serial papers, one species of the Homolidae and five species of the Leucosiidae are added to the carcinological fauna of Japan based on the collections of the late Mr. Seiji NAGAI in the Wakayama Prefectural Museum of Natural History. They are *Lamoha longirostris* (CHEN, 1986) (Tosa Bay, ca. 630m deep), *Raylilia mirabilis* (ZARENKOV, 1969) (off Ishigaki-jima I., southern Ryukyu Is., ca. 100m deep), *Myra cultimana* GALIL, 2001 (off Amami-Oshima I., northern Ryukyu Is., ca. 100m deep; off Kushimoto, Kii Penin., central Honshu, ca. 60m deep), *Myra eudactyla* (BELL, 1855) (off Miyako-jima I., southern Ryukyu Is., ca. 60m deep), *Myra grandis* ZARENKOV, 1990 (off Ishigaki-jima I., ca. 80m deep), and *Myrine kesslerii* (PAULSON, 1875) (off Amami-Oshima I., ca. 80m deep).